



カーテンの中に
こんなに立派な
ゴーヤが育って
いるかも!!!

今年は、九州をはじめ多くの地域で豪雨による災害に見舞われています。新型コロナウイルスの感染拡大が収束しない中で、被害に遭われた地域の方々のご苦勞を思うと言葉もありません。

東京では昨年10月、台風19号の上陸により各地で浸水等の被害に見舞われたことは記憶に新しいところです。

台風シーズンはこれから本番。皆様におかれましても、防災への備えを改めてお願い申し上げます。

(館長)



じぞうくん

いつもと違う夏
ですが、小さな
楽しみ、幸せ
発見できますよう!

イラスト作 S

小学生向け夏のイベントご案内 夏の読書ノート チャレンジ

8月8日(土)~8月23日(日)

期間中、本を6冊読んで、読書ノートに書いて
持ってきてね!

プレゼントは、オリジナルブックカバー
この夏、たくさん本をよもう!



巣鴨図書館限定イベントです!

通常開館時の予定

※状況により変更の可能性があります。

<日曜> 新刊本を出します。

新刊コーナーにご注目!

<火曜> 第3火曜日11時から、赤ちゃん
向けお話を開いています。

<水曜> 毎週3時30分から、幼児から
小学生低学年向けのお話を
開いています。

編集後記

いつもと同じというわけにはいかない
今年の夏…
イベントもなかなかできないのですが、
秋に向けて非接触型でできること、
考えていく予定です。
もう少しお待ちください。(M)

巣鴨図書館 まめ知識

地域資料

巣鴨・大塚地区に関する資料を
重点的に集めています

2階に、巣鴨・大塚地区に関する地域資料コーナーがあるのはご存知ですか?
他の図書館ではあまり目にしない、地域に根差した本も集めています。

今回は、その中から「巣鴨撮影所」に関する本を2冊ご紹介します。

「にしすがも創造舎」(朝日中学校跡)のある場所に、大正8年から昭和17年まで、巣鴨撮影所という映画の撮影所がありました。情報量も少なく、映画史の中では、注目を浴びることは少ないのですが、そこには悲喜こもごもたくさんのドラマがありました。

下に紹介している2冊の本には、その頃のこと
が詳しく紹介されています。
円谷英二や坂東妻三郎の、知られざるエピソードも…

ご興味がある方は、是非読んでみてください!

巣鴨撮影所関連の本

『巣鴨撮影所物語』
渡邊武男著・西田書店
(778 ㊦)

『円谷英二と坂妻そして内田吐夢』
渡邊武男著・西田書店
(778 ㊦)

じぞうくんの食レポリレー



巣鴨図書館で働く人の食事情を本と絡めながら語り、リレー方式で紹介していくコーナーです。

「私は料理ができない」

私は料理ができない。インスタントラーメンですら、水加減を見間違え、弟に呆れられたことがある。

そんな私と図書館の付き合いは、小学生のころから。真っ先に児童読み物のコーナーを目指していたが、料理本にも、すいぶんお世話になった。作る技術はないのに、一口食べてみたいという誘惑に負け、母と一緒に挑戦していたのだ。苦手な私は、書かれたことをそのままに、アレンジや創作は一切なし、常にレシピの通りに作る。作ってみると料理本には、相性というものがあり、その通りに作っても、自分の嗜好に合うものと合わないものがあった。その当たり外れが面白かった。

今や、レシピサイトが充実しているので、スマホ片手に料理、というのが定番かもしれない。しかし、料理本を通して、これぞという作り手との出会いを探すのも、なかなか捨てがたい面白さ。

今も料理は大の苦手だが、美味しいものを食べたいという気持ちはあいかわらず強く、大人になった私は、一ミリでも樂をして、美味しいものを作る方法と出会うため、今日も596の書架とにらめっこしている。(N)

テーマに合わせた図書館蔵書をご紹介します

お役立ち本

『一汁一菜でよいという提案』
グラフィック社 (596 ト)

じぞうくんのそぼくな疑問



初めまして、ぼくはじぞう。
心にうつりゆく
ちょっとした疑問を
ここでつぶやいていくよ。

AIの存在が気になるじぞうくん。宿題はさておき？夏休みに色々調べてみようと思っているみたいですよ。

『AIって気になるんだけど、そもそも何だろう。AIによってなくなる職業、なんて言われると気になるよね。ちょっと調べてみようかな。』

人工知能の本は007類だけど、今回は「どういうレベル」で「誰を対象にしているか」を確認しないとね。僕は専門家や勉強している学生じゃなく、全くの初心者だから、入門書から行くよ。まず①の本、「人工知能」を英語では「AI」これは「artificial intelligence」の略称なんだね。そして「人間と同様の知能をもったコンピュータ」は学術分野では「汎用人工知能」「AGI」と呼ばれるそうだから、そこは区別が必要なんだね。②の本は切り口が面白い。

「なくなる仕事と生まれる仕事」とか「人間vs.AI」とか、異なる切り口からAIへの理解を深める内容になってるよ。③の本は絵やイラスト・図がいっぱいでわかりやすいかも。機械学習とディープラーニングのことがしっかり書いてあるね。AIがどういうものなのか、少しずつ分かってきたよ。

道具が便利であればあるほど、使う側の知性とか品格が問われるのかもなあ。ひとまず、AIに夏休みの宿題やってみようのはあきらめて、アイス食べてから自力で頑張る～』

じぞうくんが読んだ本はこちら

- ①『人工知能解体新書』
SBクリエイティブ (007 コ)
- ②『いちばんやさしいAI人工知能>超入門』
マイナビ出版 (007 オ)
- ③『最新図解で早わかり
人工知能がまるごとわかる本』
ソーテック社 (007 タ)

じぞうさんぽ

<草壁家潜入レポート>

2018年4月某日、朝10時。愛・地球博記念公園駅（愛知県長久手市）に到着。本日の目的は、『サツキとメイの家』。あの、『となりのトトロ』に出てくる草壁さんの家である。2005年に開催された愛・地球博のパビリオンの一つとして建てられたこの家は、現在も公園内に保存されており、見学ができるのだ。

11時半。玄関前で説明を受け、草壁家にお邪魔する。まずは書斎へ。室内には入れないため、戸口から観察。独特のごちゃごちゃ感がたまらない。次はすかさず、隣の扉を開く。二階への階段が現れ、一人でニヤニヤ（二階もちゃんと部屋が再現されているが、見学は不可）。他の部屋は見学自由。押入れ、箆笥、戸棚等々、勇者のごとく片っ端から開けまくる。中には生活感溢れる本物の道具類がぎっしり。一番気になっていたお風呂場も、タイルの模様まで細かく再現されている。お座敷では先日取り壊したばかりの母の実家を思い出し、しばししんみり。後半は外観見学。台所の外には井戸小屋があり、実際に水が出る。家の周りも、縁の下にどんぐりが転がっていたり、バス停があったりと楽しい。屋根の上にはもちろん、例のトトロの耳(?)のような飾りがついていた。

2020年8月現在、『サツキとメイの家』は、『ジブリパーク』（2022年オープン予定）整備のため、休業中。トトロファンの皆様、再開の暁にはぜひ一度、訪れてほしい。オススメである。(A)

旅のお供に
おすすめの
図書館
蔵書をご紹介します

ともぼん
お供本

『となりのトトロ』
徳間書店 (E トク)

『ぴあ愛知万博写真集』
ぴあ株式会社中部支局
(中央図書館所蔵)